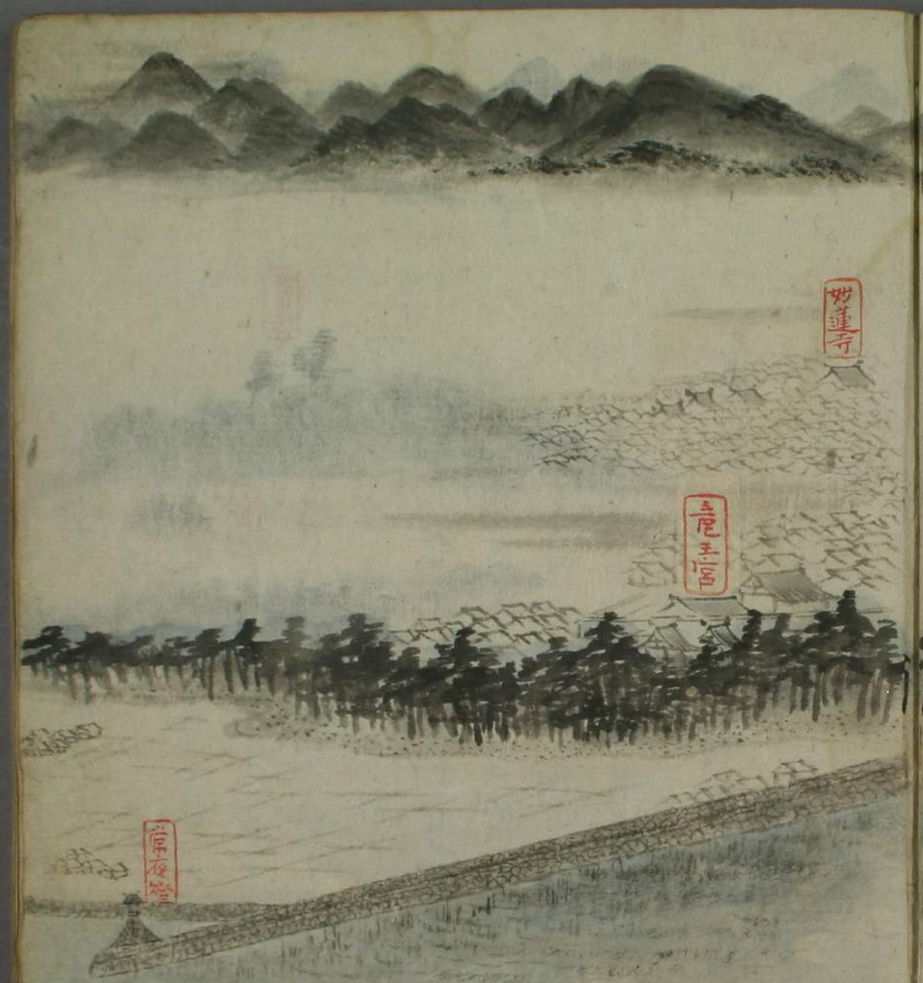
書經日記

一

特別
へ10
7350
1

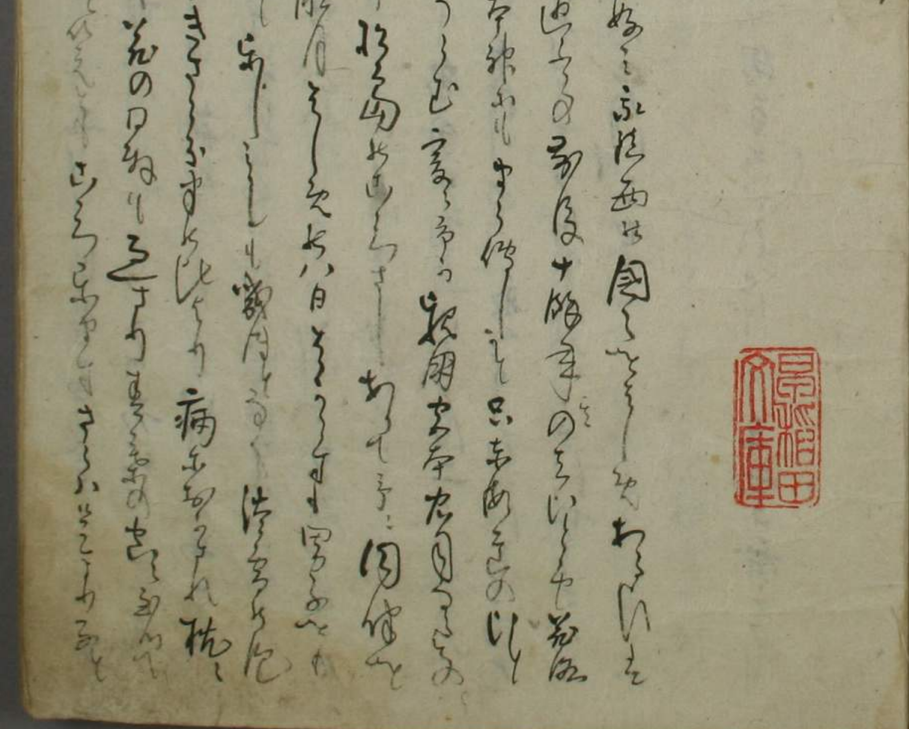
Nº
7350
1

< 97-152 >


妙蓮寺
竜王宮
三保松原

廣隆
中津城
小祝
高濱の古城
竜王濱

東遊日記 一



たゝ風のみ吹つゝきて 十日にしも浩然の声を聞く心地して 云

此うちに船とまりて 旅の身のうさも身に添ひ

て物さびしけれは 煎茶の中へ はしりて世を

ふる事の 舟にてなれは すきの苦しさをも

なれぬものから 覚ゆる ちかき日の夜をあかして

いとゝあはれにて きゝしには 今はされ

かゝる世の中の 蜜角力の 水と月 二日より

両人とも 京に上る 船の中に

浪花の住居の船 あそびの 舟の中に

時安政三年丙辰六月二日

〇三日 四日

此両日 肴 御 船 泊 風 なく 日和 よからねば 今 舟 泊 る

〇此夜舟ゝ京泊

〇角力神占

〇五日

此日 肴 場に大角力ありとて 今日 見物に 行きて 帰りにけり

西国八小柳常吉 雲龍久吉 関脇九文龍 陣幕八 猪王山

若者 ともに あまたの 力士 此日 荒馬 関取 出て 道

にて 知り たるは 松 法を 結び いと 美しき 新 鄙の 事

然るに 見ても 大 地に 土 ありて 勢 見事 なる も

皇国の うちに まれ なる 大 物にて 兵 見事 なる 肥

前 八 それ 鮨 から 項 ハ 余れて 猫 頭 より 流れて

顔 見れ ば 男 太 く 低し と いへど 肥 前 山 物 の 鬚

太 く し て 力 も 強 し と 云 ふ 雲 龍 大 文 龍 小 錦 など

その うちに 外 にも 見 物 す

此 日 見 物 の 人 々 も 見 た り し こ と の み ね 人

○船数出帆

○姫嶋

○六日

姫嶋夜泊

夜永船作宣陽世意低癸却恨家山最依々在

眠遠

○七日

○伊田ヶ浦

○城ヶ浦

○注釈
竹田宋安ノ説

○新中註

○仏母は仏ちの社ふさ[illegible]

○八日

○太子廟に冒る

○九日

形原に着し、帆をたたみ宮角にて酒をもの
[illegible]
[illegible]
西八ツ山をくだり一あるあり

○とぶり島
夜泊

○十日

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○竜田夜泊

○竜田をすぎて
いわら島泊

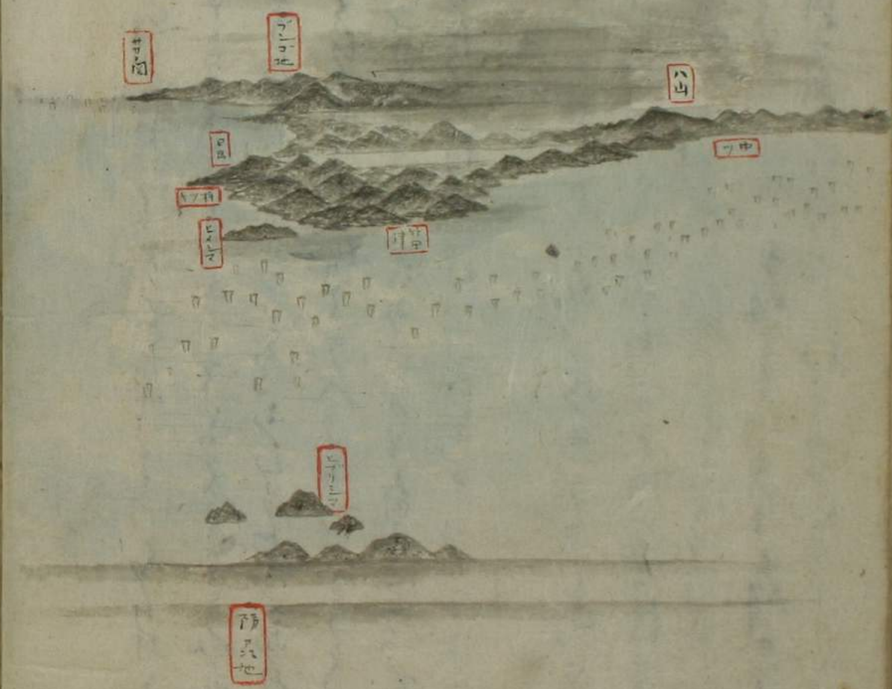
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○十一日

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

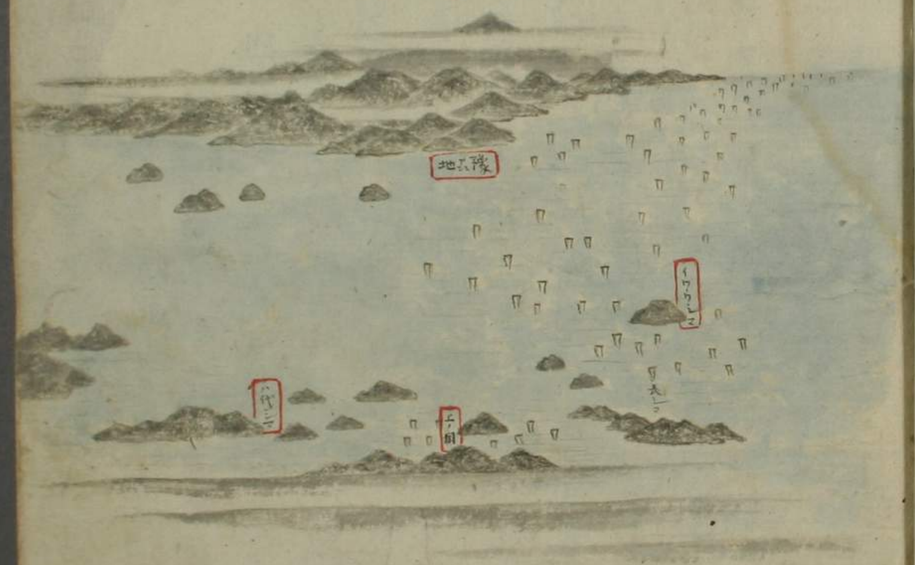
晩霞

暮天晴而望日沈
紅波間蒼茫西海
地遠東四國山千
帆是利瘦孤身是
浮閑過船角寄
勝舟人畑山岡



舟中懷紙

中秋再仍意無情
身奇妙帆涼意深
嘉光在京七十二
空遠今夜腰絃家



○イワウ高と
[illegible]

○十二日

[illegible]

○十三日

[illegible]

○[illegible]

○三原屋

○十四日

○阿伏兎観世音

○鞆ヶ崎ニ入

石垣角矢倉ハ画まものゝ如く陸高く見ゆ

阿伏兎ヶ観世音ハ鞆ヶ崎ニ入ル右国ハ山ヶ崎ヶ一ツ

四国ヶ崎ハ左ハ海ヶ崎ヶ

[illegible]

例ヶ[illegible]

きとりけれハ塩のみちる　樽ぬ口に　勝ゆくやまかならむ
留る船も出てゆく　尾ゞ倒れんとすいかなる係そ
茶店に休み茶をのみてしはしのほとくつろきかはを
浦石のあけりけるに大ふね切ゝ田房舟にをつる
けれハ利やうきし此寫ら知窟に病ひられハ南我
国社に松崎に居りけるか日々通へ寄天験あらはし玉ふ
ことかきりなし　此ゟ寺前に帰く船にのりて[illegible]
南我国社に霊威ありとし[illegible]鞆の内の窟の南
川[illegible]花鷹も十二丈有後ハ縁ハて[illegible]
う[illegible]連る寺船件中よ　鞆の浦に属し付たし
松崎に崖ありて昔は海に[illegible]たれハたよりかたく
[illegible]
あみらんとし

○鞆をさして
兵庫より出立

○金比羅参
代集

手付之鞆の浦出すに崎屋にて[illegible]多く[illegible]二文出
塩せまりて舟を出し[illegible]よ[illegible]けれハ浦にあり
かはらかとやよろしく[illegible]鞆の[illegible]ちて[illegible]
これハ今年[illegible]いつくの[illegible]より[illegible]代を
ありて船にのりし丈夫ハ[illegible]へ[illegible]八日[illegible]多
[illegible]金比羅参　前ハかや山[illegible]
すれ[illegible]風の[illegible]く[illegible]絶よ[illegible]
中○この日善通寺へ大師の誕生の[illegible]間近[illegible]よ[illegible]
[illegible]川にかけて[illegible]山[illegible]に[illegible]遊
[illegible]西入て[illegible]帰りに休みて[illegible]山へ[illegible]に
[illegible]のり[illegible]月を石壇[illegible]の月に[illegible]に
[illegible]金堂の[illegible]をしつて[illegible]を[illegible]

[illegible]

[illegible]月[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

屋嶋[illegible]

やり[illegible]

舟中偶成

薫風梳髪灑斜暉

暁酌蓬窓対翠微

得意心如得仲[illegible]吟詠

[illegible]白雲飛

○十五日

[illegible]

[illegible]明石沖[illegible]

西ハ小豆島東ハ淡路島[illegible]

日小豆島淡路島ハ代名[illegible]

全国[illegible]小豆島ハ淡路島[illegible]舟路[illegible]長さ十

[illegible]

○小豆島

○淡路島

月[illegible]

淡路[illegible]舟

[illegible]

○明石

[illegible]

[illegible]

○雲州侯　○十六日

[illegible]

○兵庫

[illegible]

[illegible]

○十七日

○十七日

[illegible]

○十八日

[illegible]

山有富峰城大阪
秋景実是両雄觀
英藏懷旧自半生
今日孤人肝膽寒

[illegible]

○十九日

[illegible]

欠能利ハ酒と醤油にて煮て飯ニかけて食す　否ハ膳
ニ味噌汁菜皿ハ附合也　御同様ニ付て
具学題ハ茶ハ日々二三度ツヽ出る
ハ大分ニ矢庭の為ニ手配す

○十九日

御用番若年寄　長屋門　吉田南ニ而御沙汰有之
御本丸御勤ニ付御目見被仰付
御作事奉行新ニ
御作事奉行　土屋宗女守殿
大御番頭　稲葉兵部少輔殿　御作事　小笠原加賀守殿
御小性組番頭　牧野備前守殿　米倉丹後守殿
御書院番頭　田沼主殿頭殿
御使番　阿部伊勢守殿

○高人御作事内

同御加番　牧野丹後守殿
御目附　佐橋中務
御船手　佐野兵部
御作事　佐々木信濃守　大井十太郎
堀田　久留島佐渡守
前ニ御番士　若年寄大久保佐渡守
大御番頭　御小性組番頭

○廿日

両御堂より
○廿一日
○生ナ絵有
御本丸御目見被仰付
一、上様御成

大城御本丸拝見別誌

当御城内ハ[illegible]公儀[illegible]厳重[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]御門[illegible]入[illegible]
[illegible]左右[illegible]
[illegible]大[illegible]門[illegible]右[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]井[illegible]
[illegible]
松島[illegible]金銀[illegible]

同 沼太冲庄左衛門
同 豊田内 稲垣
右之通 村松石山様
御天文方[illegible]
口 御向寄[illegible]月
山田

○廿四日

[illegible]七日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
天満橋[illegible]橋[illegible]橋上橋[illegible]西[illegible]

[illegible]諸士一同[illegible]
[illegible]
[illegible]善[illegible]太閤[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○天満宮

[illegible]

○孤舟

○廿五日

[illegible]

要人行合兄人気に安心得て中国をはしめ見えてあや八九
人にあらす亦中にてさうらうお中にてあら
表の方に飛りてハ世にやかてく舟ともすなれハ得なりて云
やう其中にて舟にとうなえにゝとあらてそ橋
り舎ふやうしてし積みて任ぬてわ点へて何所
今てのとうる陰ぬ金りとて云飛ハ中に合点すなれ
なつ陰すとるにおなれしさうら[illegible]人にてそなれ
その人とわうれにる舟ハ云川への津れハにつき
さうりんふ中に桃へ子ふ勝なく付ありてさうハおハ
おもりまなと其へて勝くなうのけうはいれぬ
みなふれてあうりし
まさうやそ桜井からふれハ例に半升舟へて以[illegible]

おの例へとてその日より砂揚便なし陰へとも
そのれし舟上至らうその月より刑部陸へとむけ
の高舟ふ気し阿仏それハ岩佐ら郷へ飛
もきに点えるなんたうのせてあり比ちとて舟ハや
そうもしハ人[illegible]の事ハ尋ぬるにハ一人にて所
まし気けの陰をゆるれハ舟とあうすまて
うるさるのうまとなるなの
また与る舟ハとし郷に合大うし出一人ハ梶取之ハ
かくて宗夜なる西方ちかふとわたりして陸へ
桃ふいろそ成なるしまれハ陸上の付りけるに
ましあり

○[illegible]

○八幡

○淀

○伏見

○深草

暁ハ八幡に詣けれハ御山ハ男山八幡宮と申ぬ
淀の城を見る　川岸より川舟の向ひの方まで
来て舟をかりて[illegible]行て[illegible]
やう〳〵　伏見に着ハ揚り場より御香宮へ
入あ為しして京へ趣けり
道より右に深草といふ所あり　いろ〳〵の物をうりし　東福寺
川あり　人深草少将ハ[illegible]の信仰に[illegible]し　古き
石塔ハ所の塔と[illegible]　仏を宗信画像あり
又常盤御前　京中に[illegible]　仏を下り深草より
井にあり　是ハ[illegible]
[illegible]
主信[illegible]　[illegible]

○東福寺

夢の堂に本尊大仏像あり　[illegible]
主信の日に[illegible]　[illegible]
[illegible]あり　大阪静[illegible]　大阪[illegible]
府の[illegible]　武士[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　台廳に[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
東福山門を入ば石橋かゝる中に[illegible]
[illegible]

○加茂川
砂ふき給

夫ゟ稲荷山を越て志り手拭ひて三十三間堂大仏お
あふきて一ゟし 東川京の加茂川の原むかし川三條の橋
西國屋にやとる
富に加茂川の砂ふきあけてあたりの人々たちて
流中流の三千條をわたりて川原の茶屋にて
にぎ晴れたる男女を見てあそひ上裳つけて
茶の湯をもて大橋わたりて涼み給ふにすゝ風も
たまたまつたはりて男のかたちに酒を呑
しるとあり 祇園の花見にまゐりてふもとにあそ
びたるは三條のいとの上の茶屋に一夜明けて
時とつてはなのいと見あかぬものにいたる
うちありし其文句 川原と涼むてうこゝに

月になきしけは大祇園のむかしを思ひ出して
加茂川の東ゟ三條ゟ四條のあたりにて
ゆふかたは四條の橋わたり 三條四條五條
なかの橋口は大原まで 白川さまは川原に下
りて涼みかたりしに三十三間堂よりの川原をさし
しつつ川をわたりてかつら仰ぎて
川原は夕月になりて風寒す
並木をわたりて三の国中にすゑて二月の
まつり宮の社に参りてあそぶの茶屋なり
茶屋かしこは中にて宮社まゐりにまゐりて
それにて諸国の茶屋の立給ひて
あわれ夏めかの御所の照り日中にて鳴呼の

○廿七日

[illegible]

聖護院吉田[illegible]

[illegible]

三條東渡[illegible]

偏出紅塵耳目明

山似高人臥枕[illegible]

水如淪底濯纓清

[illegible]

[illegible]

終日逍遥無[illegible]

祇園精舎暮鐘聲

[illegible]

○圓山[illegible]

[illegible]

[illegible]

○圓山六村[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

○東寺[illegible]

○廿八日

東寺[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

面やこの時代に西坂本に移る 無聖寺

○小野天満宮

○北野城跡

○廿九日

無聖寺 [illegible] 山脇騎道と云へる [illegible]

[illegible]

○陽寺

上加茂神社

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○紫野大徳寺内
○源瑞院
○天瑞院
○總見院

○御
山解式寺号紫野大徳寺塔頭と一天す
源瑞院ハ寺号ハ信長公位牌所
ハ寺号ハ中央信長公ハ像
豊臣関白秀吉公天瑞院ハ像ハ
左豊公右秀次公元天瑞院ハ像ハ
總見院ハ寺号ハ信長公ハ像大さ常人ハ
中央ハ廣大ハ像ハ寺号ハ無量禅寺ハ
大方ハ主殿中ハ御ハ
山号ハ千利休ハ号ハ石塔ハ

○大仙房

[illegible]

○京路菊

[illegible]

昨保息川堤古歌今追往水又遥遥晨迎日上紫雲閣夕醉花飯流月橋
曾聞鄂寺佛刃尼偶見緒紳獲二喬唐寺繁華雖偶句徳成一律
是蜂腰